記入例 令和6年1月1日までに取得して、これまで申告されていない資産を全て記入してください。

第二十六号様式別表一（提出用）

令和7年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

* 所有者コード		所有者名										枚のうち							
		水俣市株式会社										枚目							
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			(イ) 取得価額		(ロ) 耐用年数	(ハ) 減価残存率	価額		課税標準の特例		課税標準額		増加事由	摘要
					年号	年	月	十	百			千	円	十	百	千	円		
01	1		舗装路面(アスファルト)	1	5	3	10	4	000	000	10	0.						1.2 3.4	申告もれ
02	2		太陽光発電設備(20Kw)	1	5	6	10	5	000	000	17	0.						1.2 3.4	
03	6		応接セット	1	5	6	9	250	000	5	0.							1.2 3.4	
04	6		エアコン	1	5	6	9	150	000	6	0.							1.2 3.4	
05	6		パソコン	1	5	6	8	200	000	4	0.							1.2 3.4	
06											0.							1.2 3.4	
07											0.							1.2 3.4	
08											0.							1.2 3.4	
09											0.							1.2 3.4	
10											0.							1.2 3.4	
11											0.							1.2 3.4	
12											0.							1.2 3.4	
13											0.							1.2 3.4	
14											0.							1.2 3.4	
15											0.							1.2 3.4	
16											0.							1.2 3.4	
17											0.							1.2 3.4	
18											0.							1.2 3.4	
19											0.							1.2 3.4	
20											0.							1.2 3.4	
小計								9	600	000									

10

【資産の種類】
数字で記入してください。
1 構築物
2 機械及び装置
3 船舶
4 航空機
5 車両及び運搬具
6 工具、器具及び備品

【資産の名称等】
資産の名称、規格等を記入してください。
※太陽光発電設備等を取
得した場合は、発電出力
数を記入してください。

【取得年月】
資産を取得した年号及
び年月を記入してくだ
さい。
年号 大正・・・2
昭和・・・3
平成・・・4
令和・・・5

【取得価額】
資産を取得するために、通常支出すべ
き金額(資産の取引運賃、荷役費、運送
保険料、購入手数料、据付費等、該当償
却資産を事業の用に供するために直接
要した費用を含む)をいいます。
※圧縮記帳、下取り金額を差し引いた額
は認められません。

【耐用年数】
耐用年数を記入してくだ
さい。

【価額・課税標準額】
原則記入不要ですが、電算処理によ
る独自様式で申告される場合は記入
してください。

【増加事由】
該当する増減理由の番
号を○で囲んでください。
1 新品取得
2 中古品取得
3 移動による受け入れ
4 その他

【摘要】
① 昨年度の申告漏れ資
産である場合は「申告もれ」
と記入してください。
② 特例に該当する資産の場
合は適用される条項を記入
してください。